



# 岐阜県 安全・安心まちづくり情報

～ 第16号 ～ (平成26年7月)

「岐阜県安全・安心まちづくり情報」第16号をお届けします！

日頃は「安全・安心まちづくり県民運動」にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

## <今号の記事内容>

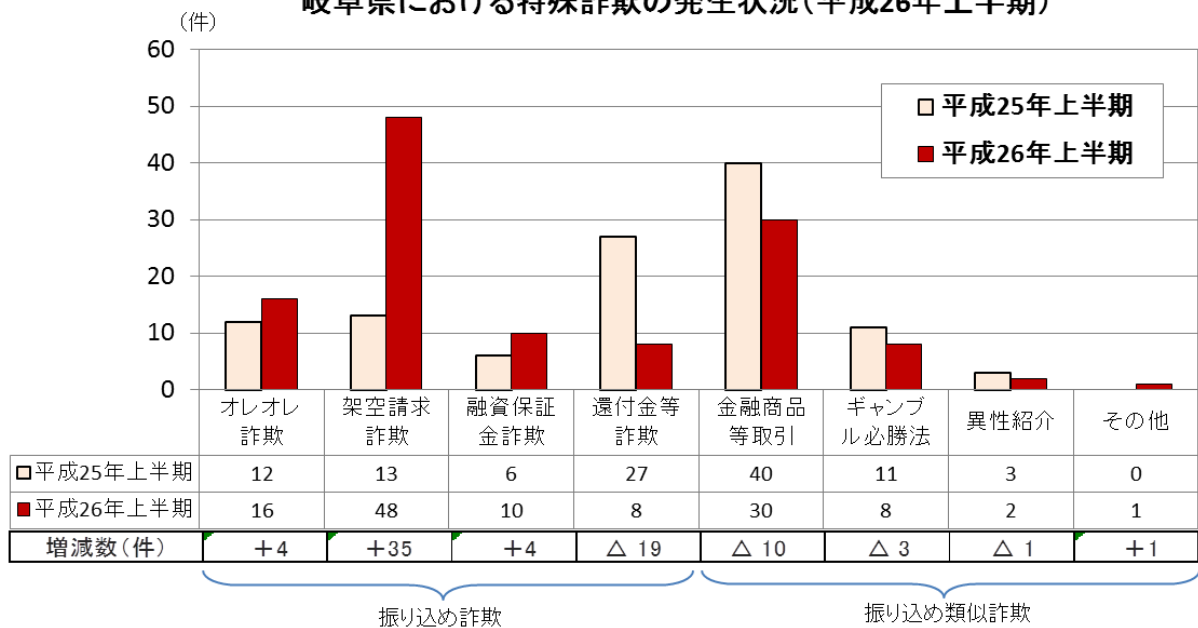
- 県内の犯罪情勢（平成26年上半期）について
- 「架空請求詐欺」の被害が急増しています！
- 「安全・安心まちづくりアドバイザー」を派遣します！
- 地域で活躍している仲間を紹介します「NPO法人こども見守り隊（垂井町）」

## 県内の犯罪情勢(平成26年上半期)について【統計値:岐阜県警察資料(暫定値)】

岐阜県における平成26年上半期（1～6月）の刑法犯認知件数は9,989件で、前年同期と比べ1,159件の減少となりました。

しかしながら、振り込め詐欺が依然として多発しており、平成26年上半期の発生件数は82件（前年同期比+24件）、被害総額は約2億4,437万円（同約+1億3,896万円）で、前年同期より大幅に増加しました。

### 岐阜県における特殊詐欺の発生状況(平成26年上半期)



### 平成26年上半期の特殊詐欺発生状況

- 振り込め詐欺 82件（前年同期比+24件）、被害総額 約2億4,437万円
- 振り込め類似詐欺 41件（前年同期比-13件）、被害総額 約2億1,485万円

## 「架空請求詐欺」の被害が急増しています！

平成26年上半期の岐阜県における架空請求詐欺の発生件数は48件で、前年同期と比べ35件増加し、被害総額は約1億4,506万円にのぼっています。

「架空請求詐欺」は、郵便、インターネット等を利用して、不特定の者に対し、架空の事実を口実とした料金を請求する文書等を送り、現金を預金口座に振り込ませるなどの方法によりだまし取る詐欺です。

- ＜被害防止方策＞
- 自分から安易に問い合わせをしない。
  - 相手に、自分の氏名や住所などの個人情報をお教えしない。
  - 身に覚えのない請求は無視して、警察等に相談を。

振り込め詐欺等の手口は多様化しており、最近では、金融機関を通じて「振り込ませる」ものに加え、現金を宅配便等で送金するように要求したり、犯人が現金やキャッシュカードを直接自宅等に取りに来る「振り込ませない」振り込め詐欺（いわゆる「受取型」の手口）が増加しています。⇒ 宅配便等で現金を送金するよう要求されたら詐欺です！

## 「安全・安心まちづくりアドバイザー」を派遣します！

～防犯ボランティア団体、自治会、PTA、老人クラブ等の集まりでぜひご利用ください～

岐阜県では、防犯に関するまちづくりの取組を応援するため、防犯ボランティア団体、自治会、PTA、老人クラブ、学校、保育所、幼稚園、事業者、市町村、その他の団体が開催する会合等に、防犯設備や地域安全活動の専門家を無料で派遣して、出張防犯講座を行っています。

「住宅・店舗の防犯対策」、「振り込め詐欺対策」、「防犯パトロールの活動方法」、「地域安全マップの作成方法」など、講座の内容はご相談に応じますので、お気軽にお問い合わせください。

### 【お問い合わせ先】

岐阜県環境生活部環境生活政策課 TEL 058-272-8205



## 「岐阜中央ライオンズクラブ例会」へ安全・安心まちづくりアドバイザーを派遣しました。

平成26年6月12日（木）、「岐阜中央ライオンズクラブ例会」において、岐阜県安全・安心まちづくりアドバイザーの岩井慶次さんが、「自分たちのまちは自分たちで守る」と題して、地域安全活動に関する講演をされました。

岩井さんは、ご自身が隊長を務める大井町地域防犯パトロール隊の活動について話された後、「無理があっては長続きしないので、誰でもできる活動を」と呼びかけられ、腕章を付けるだけなどの気軽な防犯活動を提案されました。

そのほか、他の組織との連携の大切さや不審者対策としての環境整備の重要性、県のフレンドリー企業登録制度についても話され、出席された方々は熱心に聞き入っておられました。



～地域で活躍している仲間を紹介します～

## NPO法人 こども見守り隊 (垂井町)

青パトによる毎日の防犯巡回のほか、連れ去り防止の寸劇や防犯カルタの作成などによる啓発活動にも積極的に取り組まれている垂井町のNPO法人「こども見守り隊」の活動をご紹介します。

### ■結成年月

平成20年3月(平成20年5月 NPO法人格取得)

### ■活動人数

93人(男性74人、女性19人)

### <受賞実績>

平成21年 県防協表彰「功劳ボランティア団体賞」

平成24年 県知事表彰「岐阜県安全・安心まちづくり賞」

平成25年 文部科学大臣表彰

「学校安全ボランティア活動奨励賞」



▼代表理事の渡邊直文さんにお伺いしました。

### 【活動を始めたきっかけ】

垂井町第1号のNPO法人をなんとか自分たちで・・・と仲間を集め、平成18年3月にNPO法人「泉京・垂井」を誕生させました。平成20年3月には同法人から「地域安全・子どもの安全」の事業を引き継いで第2のNPO法人「こども見守り隊」を設立し、現在7年目の活動に入っています。

### 【主な活動について】

#### ①学校通学路の防犯巡回

青パト2台(+予備1台)を保有し、会員93名による日々の下校時の学童の見守り活動を行っています。  
(平成25年度:年間稼働日数244日、走行距離17,928km)

#### ②啓発活動

会員有志の寸劇団「百日紅(さるすべり)」による「連れ去り防止劇」と「振り込め詐欺防止劇」、手作り大型カルタによる啓発活動、年金振込日のチラシ配り、「こども110番の家」駆け込み訓練、「通学路こども110番の家」の点検を兼ねての「見守り隊健康ウォーキング」、会員有志による手作りグッズ『組紐「青パトプラ板つきストラップ」、風車、花の種(フウセンカズラ、ベニバナ、マリーゴールド)』シリーズ、パステル画などによるイベント啓発や、町内の各種祭り(ふれあい垂井ピア、中山道垂井宿祭り、文化祭)への出展を行っています。



③安全安心まちづくり研修会、防犯講習会、子ども安全会議など、例会の開催を継続しています。

④相川清掃活動、ふれあい垂井ピアフェスタスタンプラリーや、ふわの子グルーミーず、不破地区防犯協会などのボランティア活動に参画しています。

⑤「旬なホームページ」づくりを心がけ、「青パト・垂井」と打ち込めば、最初にページが出て来る露出度ナンバー1を目指しています。



### 【活動において工夫している点】

- ・会員間の絆づくりを大切にし、「会員相互研修会」にて発表会を行っています。
- ・「青パト」独自の特権意識を排除し、年2回の会員向け交通教室、例月の「青パト証」更新講習会にて、垂井警察署(生活安全課)との協働による自己研さんを奨励しています。
- ・全会員が顔写真入りハート型看板をどこでも掲げて、いつも全会員が参画しているという気運づくりに心がけています。
- ・スローガン「平成26年度 豊かなチーム感をみんなで味わいましょう」を常に掲示するようにしています。
- ・「青パト」車内掲示板の活用を逐次工夫しています。例えば、不審者出没の一報を受けたら、即時に当日又は翌日のパトロール会員に重点巡回をお願いしています。
- ・担当ごとの乗務スケジュールは、2か月前通知(案)と1か月前通知(決定)の最低2回は会員にお知らせしていますが、それでも人は生身ですし、冠婚葬祭もあります。そのため、「ドタキャン大歓迎」を掲げ、誰かが代行できるという安心感をみんなが共有し、会員すべての体調管理最優先主義をモットーにしています。また、熱中症予防に、乗務時間中(1回当たり平均2.5時間)の水分補給の徹底を心がけています。
- ・青パト巡回時の遵守事項として、助手席安全指示(バック時は必ず下りて誘導)の励行、時速40キロ以下走行の厳守及び始業・終業点検の励行(特に車止めの励行)を促しています。



### 【活動を続けていて良かったこと】

子どもとの「笑顔で挨拶」の輪づくりに触れられる喜び、高齢者会員自身の居場所づくり、地域全体への感謝の出会いの広がりなど、多くの得難いものを実感できていることです。

### 【これからの目標・課題】

「垂井町の安全安心ステーションづくり」を目指しながら、世代交代をどのようにして実現するかが大きな課題です。

～毎日の活動、本当にお疲れさまです。

皆さまの活動の様子を本紙で紹介させていただきますので、活動情報をご提供ください。～

#### お知らせ

平成26年度「岐阜県安全・安心まちづくり県民大会」

○とき 平成26年10月15日(水) 午後1時30分から

○ところ 大垣市情報工房スィンクホール(大垣市小野 4-35-10)

### 安全・安心まちづくり県民運動 ～自分の地域の安全は、自分たちで守る～

岐阜県 環境生活部 環境生活政策課 生活・交通安全係

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1

TEL 058-272-8205 FAX 058-278-2605

e-mail c11260@pref.gifu.lg.jp

\* 岐阜県安全・安心まちづくりポータルサイト <http://www.pref.gifu.lg.jp/bosai-bohan/bohan/hanzai-zero-machi/>